



広島工業大学高等学校
校長 山口 健治

～ 朗らかに 誠実に しなやかに ～

改革推進への指針

本校が位置する広島県西部エリアの15歳人口は、2015年度を100%とした時、2040年では、西区で70%、佐伯区・廿日市市で60%、大竹市で50%、岩国市で60%になるとわれています。

今32歳の先生が、私の年齢(55歳)になった時、本校近隣から宮島沿線にある私立高校5校・公立高校7校のうち、一体何校が健全経営できているか、とても笑えない話です。

加えて近年、国の教育改革で、次々と教育キーワード「アクティブラーニング・ICT・学力の三要素…」が登場し、様々な新たな学力観へのアプローチが求められます。

本校全日制課程では、平成23年度より学校改革を実施してきました。

学校改革のコンセプトは、「入学してきた生徒の学力を、確実に伸ばして卒業させよう」という、至極当然で単純明快、しかし学校として最も本質的に求められている部分への挑戦でした。

また、私学だからこそ、その伸ばした学力(教育の成果)を可視化させることにも力を注ぎました。

待ったなしの改革の方向性が定まり、システムが整った今年度、偉大な前校長の任を、私が引き継ぐこととなりました。

入学式での式辞は、改革推進へ向けての私の想いであり、指針ですので、ここで紹介したいと思います。

式 辞

暖かな日差しが降り注ぎ、校内の草木に、命の強さが満ち溢れる今日この頃、本日、めでたく、入学を許可されました421名の新入生の皆さん、そして保護者の皆様、高い所からではございますが、本日はご入学、誠におめでとうございます。

また、本日は、同窓会相談役をはじめ、多くのご来賓の皆様方のご臨席を賜り、かくも盛大に、入学式が挙行されることに対し、心からお礼を申し上げます。

さて、本校は、建学の精神、「教育は愛なり」、教育方針「常に神と共に歩み、社会に奉仕する」を、教育活動の柱に、この具現化を目指し、特色ある教育のプログラムづくりと、実践を行っております。



新入生の皆さん!

私たち教職員は、皆さんと、こうしてお会いできることを、本当に心待ちにしておりました。

ただ、今、この場に座っている人たちの中には、もしかしたら、

「本当は、今日、自分は、この制服を着ている予定ではなかった。違う制服で、入学式を迎えたかった。」と、感じている人もいるかもしれません。

私たちは、平成23年度から学校改革に取り組んできました。

まず初めは、特別進学類型の進学実績向上の取組みです。その結果、国公立大学への合格者数は、飛躍的に向上し、旧帝大などの難関大学への合格者も、輩出できるようになりました。

続いて、一昨年度からは、総合進学類型において、英語検定・数学検定・漢字検定を必修化し、習熟度別に授業を行う本校オリジナルな学習システム、3R's+Eに取り組みました。

その結果、英語においては、昨年度、1、2年生の準2級以上の合格者が、システム採用前の24名から138名にも上りました。

検定試験を、学習活動に位置付けたのは、検定試験は、学校の評定平均値とは違い、客観性や普遍性があるからです。例えば、英検2級は、全国どこの学校の生徒と比較しても2級として認められます。

さらに、一夜漬けが効かない検定試験は、本当に実力がないと合格しません。

私たちは、教えたつもりで終わらせる、のではなく、皆さんに確かな学力を

身に付けてもらいたいのです。

このような教育実践から、私たちは、一つの結論を得ました。

それは、「生徒の習熟度合に適した教材と、豊かな学びの環境、そして指導者の熱い思いがあれば、生徒は間違いなく伸びる」ということです。

皆さんがここに今座っているということは、3年後の卒業式も、ここに座っていることでしょう。

この学校は皆さんの母校となります。3年後、その制服を着ている皆さんを見た中学生が「私は・僕は、どうしてもあの制服を着たい」と、強烈に思ってもらえるような、そんな学校に、皆さん自身がして下さい。

その手助けをするシステムと、それを実践する熱い思いが、私たちにはあります。

私は、これから3年間本校で学ぶ、新入生の皆さんに、次の言葉を送り、私たち教職員も共有し、皆さんの夢の実現を図りたいと思います。



【朗らかに】

【誠実に】

【しなやかに】です。

【朗らかに】

朗らに明るく学校活動を送って下さい。朗らかな人は感じの良い人です。感じの良い人は周りに幸せな空気を醸し、好感を持たれ、愛されます。

【誠実に】

人に真摯に向かい合うということです。また、事や物にも真心を持って丁寧に取組むということです。人が社会生活を営む上で最も大切な要素「信用」は誠実さです。

また、誠実さは自分自身に対しても向かいます。「今の自分の生き様は、20年後の自分に対して本当に誠実か」その自問を成長につなげてもらいたいのです。

朗らかに、誠実に人に向かい合う生き方になると、あなたの周囲も変わることでしょ。

【しなやかに】

「強い者が生き延びたのではない。変化に適応したものが生き延びたのだ」という言葉があります。多様な価値観や変化の早い今の社会では、しなやかで、弾力性のある思考力を持つことが必要です。また、竹のようなしなやかな粘り強さで努

力することも大切です。

日本画家の千住博先生は、ある若者から「どうすれば成功するんですか」と質問をされた時に、こう答えたそうです。

「成功した人は、成功するまで努力したんだよ」と…。

私には夢があります。

将来皆さんが、高校を卒業し、様々な進路に進むことでしょう。

他県の大学へ行くと、当然、最初は同じ広島県の人と仲良くなります。

その時に、「高校はどこなん」という会話が必ずなされる筈です。

その時に「俺(私)、工大高」と答えた時、その友人が、「えっ、工大なん、凄いやん!」

ぜひ、今日をその第一歩にしましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様へのお願いです。

子どもたちが立派な人間に育っていくことは、保護者の皆様と、私ども教職員の共通の願いであります。

ともに理解に努め、協力し合う関係を、構築していきたいと切に願っています。

今後とも皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますことを祈念いたしまして式辞といたします。

平成30年4月9日

広島工業大学高等学校
校長 山口健治